
夏休み子ども体験講座Ⅰ ～本場の味ピザ作り～

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 料理を通じて、子供たちに共同作業の楽しさや様々な視野を広げてもらうことを目的として開設した。
- 期 間 令和元年7月23日（火）
- 時 間 午前10時～午後1時（計3時間）
- 対象・定員 市内在住又は在学の小学3～6年生・20人
- 参加者 19人
- 参加費 調理材料費500円
- 講師 篠田 イラリア
- 事業内容
 - ・ピザ（マルゲリータ）
 - ・季節のフルーツに生クリームを添えたデザートとの2品を作る。

○ま と め

イタリア出身の講師から本場のレシピを教わり、調理をすることの楽しさや外国の文化を学ぶ機会作りとして毎年好評を得ている講座である。

生地から作るため、原材料が何から出来ているのかが分かり、小麦粉に塩などの調味料を加えていく工程も新鮮味があったようだ。生地作りで一番労力を要する「捏ね」の作業は班ごとに全員交替で取り組んだ。耳たぶくらいの弾力がつくまで順番で回数を数えながら、途中水を加えたり、講師に生地の固さ具合を尋ねるなどして楽しみながら生地を作った。

発酵の間にイタリア語に関するクイズの出題があり、イラスト付きの出題ボードを講師が用意し、子供たちも楽しんで参加していた。また、発酵の合間にデザート作りをした。泡立て器を使って生クリームを作ったが、作業中に生乳が固くなるまで攪拌したものがバターになるとの説明を受け驚いていた。

発酵後の成形では、やわらかく膨らんだ生地の感触に歓声があがった。講師ができたての大きなピザをカットし、配膳を年長の子どもが率先して行った。料理する楽しさと達成感を味わってもらえたようだった。



夏休み子ども体験講座Ⅱ ～理科実験教室～

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 理科実験を通じて、自然科学に興味を持ってもらうことを主眼にし、夏休みの自由研究の参考となるような講座とした。
- 期 間 令和元年7月24日（水）（2部制・計2回）
- 時 間 ①午前10時～正午、②午後1時～午後3時（計4時間）
- 対象・定員 市内在住又は在学の小学生・各回とも10人
- 参加者 14人（①3人、②11人）
- 参加費 理科実験材料費①300円、②500円
- 事業内容

回	月 日	内 容	対 象	講 師
1	7月24日 (水) 午前	プラナリアの再生実験 (分身の術！プラナリアが2匹！)	小学 5～6年生	志木ライフサイエンス コミュニティ 鈴木 金吾
2	7月24日 (水) 午後	もこもこツリーを作ろう (尿素結晶)	小学 3～4年生	

○ま と め

高学年の部ではプラナリアの再生能力が非常に高いことを学ぶ(世界記録は体長2cmのプラナリアを273固体に分割した)。今回の理科実験では柳瀬川で採取した固体を分割して自宅で再生する様子を観察する。講義の前半にはプラナリアの生態について説明を受け生息域や体の構造を学んだ。また、ユスリカの幼虫を捕食する様子を観察し、分割後、別々に泳ぎ回る様子を顕微鏡を使って観察した。

中学年の部では尿素結晶反応を応用し、結晶を木の形に見立てた「もこもこツリー」を作成した。尿素は水に溶けやすく水と反応すると熱を奪う性質があることをビーカーに触り確認した。尿素は細い針金が集まったような形の結晶を作るが、食塩やほう酸など成分によって結晶の形が異なることを学習した。ボール紙の幹や枝を組み立てる工作の要素もあり、集中して作業していた。好みの食用色素を選んで色とりどりのツリーが仕上がった。



子どもヒップホップダンス講座

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 全身を使って自己表現することや仲間と気持ちをあわせて表現することの楽しさを学ぶ。
- 期 間 令和元年6月8日～7月13日までの毎週土曜日6回、
7月18日（木）1回 （計7回）
- 時 間 午後1時30分～3時30分（土曜日12時間）
午後6時30分～8時30分（木曜日2時間）（計14時間）
- 対象・定員 市内在住又は在学の小・中学生・40人
- 参加者 46人 参加延べ人数301人
- 講師 スタジオパラダイス講師 木野村 温子
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	6月 8日（土）	約束ごとについて・柔軟体操・ダンスの基本ステップ
2	6月15日（土）	拍子の取り方・パート練習（高学年・低学年）
3	6月22日（土）	パート練習（高学年・低学年）
4	6月29日（土）	パート練習（高学年・低学年）
5	7月 6日（土）	通し稽古（フォーメーションごとの位置決め）
6	7月13日（土）	通し稽古（全員でフォーメーションを組んで踊る）
7	7月18日（木）	通し稽古（大江戸まつり参加者はリハーサル兼）

○ま と め

7回連続の講座で振り付けを覚え、1曲をとおして踊れるようになることを目標に小学1年生から中学生までの児童・生徒が集まりダンスに取り組んだ。毎回講座開始30分前になると自主練習をする姿が見受けられ、苦手なステップなどを反復して振り付けを身に付けていった。繰り返し踊ることで、初めてヒップホップダンスを体験する参加者も振り付けをこなせるようになり、踊ることの楽しさや達成感を味わった。有志参加の大江戸にいざ祭りのステージ発表では、はつらつとしたキレのよい踊りを披露していた。



書き初め練習会

<大和田公民館>

- 開設の趣旨 広々とした場所で集中して書き初めの練習ができる機会を提供するとともに美しい字を書こうとする意識を持たせる。
- 期 間 令和元年12月25(水)・26日(木)(2部制・計4回)
- 時 間 午前10時～正午、午後1時～3時(2日間・計8時間)
- 対象・定員 市内在住の小・中学生・各15人
- 参加者 53人
- 講師 書道家・元小学校教諭 桜井 イサ子
- 事業内容 太筆や細筆の正しい筆の扱い方などを学び、それぞれの学年の冬休みの書き初めの課題作品を仕上げる。

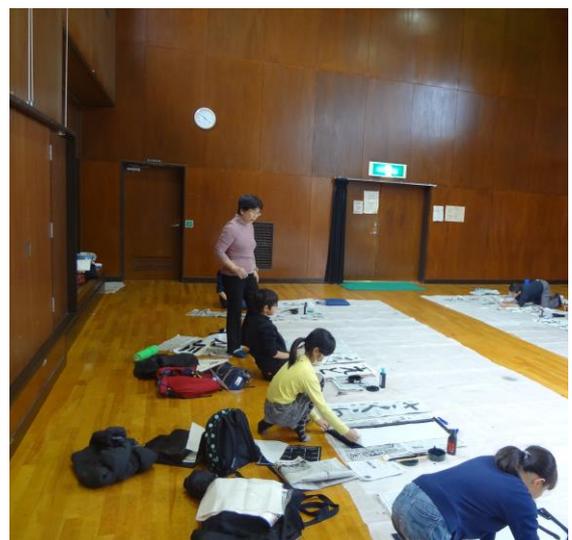
○ま と め

受講生ごとにポイントをおさえた指導は大変わかりやすく、毎年好評な講座のひとつである。特に書道を初めて習う3年生は文字を書く姿勢や筆の扱い、筆に墨をたっぷり吸わせて描くことなど書道の基本を教わっていた。実際に講師が手本を示すことで毛筆の特徴をつかむ参考になったようだった。

2時間の講座時間は3・4年生の児童にとって長く感じられたようで、注意力が散漫になりがちだったが、下敷きに書かれている線を意識して書くように声掛けをしたり、用紙をしっかり固定して筆を扱い、丁寧に運ぶことにより作品の良し悪しが決まるなどの指導を受けた。指導後の作品は練習時よりも上達ぶりがはっきりと見てとれた。時間内に全ての受講生が作品を仕上げる事ができた。

今年度は25日に3館が書き初め講座を実施したため、定員割れした回もあったが、よりきめ細かな指導が受けられたようだ。

練習会の様子



親子茶道講座

<大和田公民館>

- 開設の趣旨 親子で茶道を体験することで日本文化を知る。
- 期 間 令和2年1月11日(土)
- 時 間 午前10時～正午(計2時間)
- 対象・定員 小学生とその保護者・20人(10組)
- 参加者 19人(9組)
- 参加費 親子で600円(子ども1人追加につき300円)
- 講師 裏千家師範 大西 幸江
- 事業内容 茶道の歴史、お茶の種類、抹茶の飲み方・点て方を学ぶ。
- ま と め

親子で茶道のお点前を体験する講座で、父親の参加も複数見受けられた。小学生を対象とした講座であるが、アンケートでは中学進学後も参加したいという意見があり参加対象者について今後検討したい。

生活様式が西洋化したため正座して食事をしたり、襖を開け閉めする機会が減る中、日本古来の立ち居振る舞いの美しさを再認識してもらいたいと足への負担が少ない正座の仕方などを教わった後で、茶道の作法について説明を受けた。床飾りの「拝見」から始まり、正月や干支、四季折々にちなんだ品々を用意し季節を共に楽しむという亭主のもてなしの心を学んだ。お菓子を懐紙(かいし)で受け、亭主の点てたお茶を親子でいただいた後は、銘々に茶碗を配り、お茶のお点前の練習をした。

茶筌(ちゃせん)や茶杓(ちゃしゃく)などの道具に初めて触れる児童も多く、講師の説明に聞き入っていた。親子でお茶を点て、交互にお菓子とお茶を味わった。

アンケートでは日本文化に触れさせる良い機会になったと好評であった。来年度も日本文化に触れる機会作りとなるような講座を企画していきたい。



大和田小さな家おはなし会

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 ボランティア団体の協力により子供たちに読書に親しむ機会を提供する。
- 期 間 平成31年4月5日～令和2年3月6日までの第1及び第3金曜日。ただし、5・1月は第3金曜日、8・3月は第1のみ（計20回）※3月はコロナウイルス対応により中止
- 時 間 午後3時30分～4時（計9.5時間）
- 対象・定員 市内在住の乳幼児又は小学生と保護者・20人
- 参加者 参加延べ人数78人
- 講師 ボランティアサークル「大和田小さな家」
- 事業内容

月 日	内 容	
第1・第3金曜日	お話会	・手遊び ・絵本の読み聞かせ ・紙芝居
7月 5日 (金)	七夕会	・手遊び ・大型絵本（たなばたバス） ・指先人形（にんじんがあかいわけ） ・大型絵本（おこだでませんように） ・たなばたの歌
12月20日 (金)	クリスマス会	・手遊び・絵本（とりかえっこ・とんとんとめてください） ・大型絵本（ちびゴリラのちびちび） ・パネルシアター（クリスマスってなあに）

○ま と め

当館利用のサークル「大和田小さな家」の協力を得て、様々な絵本や紙芝居などを通して絵本の楽しさ、日本や世界のお話を子供たちに紹介している。

年に数回催される季節のお楽しみ会では、乳幼児から小学生までの異年齢の子供たちが参加して行事にちなんだ歌やお話を楽しんだ。

七夕では行事の雰囲気在家中でも味わえるよう小さな笹飾りを用意した。

今後も情操を育む場として継続していきたい。



七夕会の様子

環境講座Ⅰ ～柳瀬川の水循環～

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 生活に欠かせない水の大切さを知り、身近なふるさとの川・柳瀬川の姿について学ぶ。
- 期 間 令和元年6月12日(水)
- 時 間 午前10時～正午(計2時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人
- 参加者 11人
- 講師 志木ライフサイエンスコミュニティ 鈴木 金吾
- 事業内容 水環境の浄化・維持の役割を担う柳瀬川の微生物について学び、ふるさとの川・柳瀬川の水循環の仕組みを知る。

○ま と め

貴重な資源である水が私達の手元に届くまでどのような過程を経て供給されているものなのか水循環の仕組みを学ぶ。

昭和20年代の柳瀬川は子供たちが泳いだり、浅瀬でシジミを採ったり、畑で収穫した野菜を洗うなど生活用水として活用していた姿を映像を通して振り返るとともに、高度経済成長期を経て現代へ至る姿を追った。

かつての里山の風景などの映像に郷愁を覚えた参加者が多く、アンケートでも家族に見せてあげたいなど好評だった。

講義後半では、電子顕微鏡を使って柳瀬川の川底から採取した藻やコケの中に生息する微生物の姿を観察した。水質を反映する鏡といわれる微生物であるが、雨後の増水のなかの採水にもかかわらずラッパムシ、センチウ、オビケイソウ、水棲ミミズなどを観察することが出来た。

微生物観察は川底の自浄能力を応用した活性汚泥法についてより具体的にイメージする一助となったようで、アンケート結果では水循環への興味関心が持てたとの意見が多かった。



環境講座Ⅱ

～夏を涼しく・緑のカーテンとハーブのある暮らし～

〈大和田公民館〉

○開設の趣旨 ゴーヤで緑のカーテンを作る方法を学び、CO2削減に取り組む。また、ハーブ栽培について学び園芸の楽しさを知る。

○期 間 令和元年6月19日（水）

○時 間 午前10時～正午（計2時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人

○参 加 者 15人

○講 師 環境まちづくり地域協議会 in いざ会長 櫻 博子
園芸家 外山 たら、ハーブ研究家 外山 ミチコ



○事 業 内 容 手軽に家庭でも取り組める緑のカーテンの育て方を学ぶ。また、ハーブ栽培の魅力に触れ、園芸を生活に取り入れる。

○ま と め

CO2削減を目的とした環境講座として取り組んでいる講座であるが、毎年御協力をいただいている環境まちづくり地域協議会 in いざからゴーヤの苗を提供して頂き今年も開催することができた。

今年は苗の栽培をサポートする農家の方もお手伝いして下さり、種から育て、移植できる大きさに育てるまでの話も伺うことができた。

ゴーヤの種類は収穫が楽しめる食用の苗を提供していただいた。苗の誘引や剪定のポイントなどを分かりやすく教わり、身近なエコ活動に参加できたなどの感想を頂いた。

ハーブ講座は昨年に引き続き著名な園芸家の外山たら・ミチコ夫妻に講師をお願いした。カフェインを含まないハーブティーは子供や妊婦にも安心して楽しめる飲み物として知られている。講師持参のハーブティーは講座当日の朝、畑から刈り取ったミント・レモンバーム・レモングラスなどをブレンドしたさわやかな喉越しのお茶であり、効能についての説明も分かりやすく好評だった。

講師は写真や原産地などの映像を交え栽培方法や育て方の質問にも快く応じていた。参加者の中には既にハーブ栽培をしている方もおり、講義後講師に質問する姿も見られた。



環境講座Ⅲ

～美味しく食べよう！ゴーヤ料理～

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 緑のカーテン（ゴーヤ）が収穫時期を迎えることから、ゴーヤ料理を学び、旬の食材として活用する。
- 期 間 令和元年8月17日（土）
- 時 間 午前10時～午後1時（計3時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人
- 参加者 13人
- 参加費 実習材料費800円
- 講師 環境まちづくり地域協議会 in にいざ
- 事業内容 手軽に家庭でも取り組めるエコ活動のひとつである緑のカーテンで育てたゴーヤを調理して夏の味覚を味わう。
- ま と め



6月に実施した「緑のカーテン作り」の講座後、収穫期を迎えたゴーヤの調理方法を学ぶ講座で、当日は台風の影響等により複数のキャンセルがあったが、昨年に引き続き男性の参加者が複数おり、庭先で栽培したゴーヤの活用方法について関心を寄せていることが伺われた。講座では、主菜になる1品と常備菜2品、スイーツ1品を教わった。

ゴーヤの肉詰めはメンチカツのような食感があり、フライすることで軽い仕上がりとなった。ケチャップやソースなどを付けて食したが、苦味がないため子供からお年寄りまで食べられる夏の一品となった。佃煮はアンケートでも一番の人気ので、作りたても美味しいが、日置きしたもののほうが味が馴染んでおすすめとのことだった。このほかにもピクルスとスイーツを教わった。参加者からは「ゴーヤがこんなに美味しいとは思わなかった」、「主役のおかずになる」と好評だった。

- ゴーヤの肉詰め
- ゴーヤの佃煮
- ゴーヤのフィナンシェ
- ゴーヤのピクルス（講師持参）



日本文学講座（前期）

〈大和田公民館〉

○開設の趣旨 万葉集の名歌を通して、先人の思想や自然観、歴史的背景などを学ぶ。

○期 間 令和元年5月11日～6月1日までの毎週土曜日（計4回）

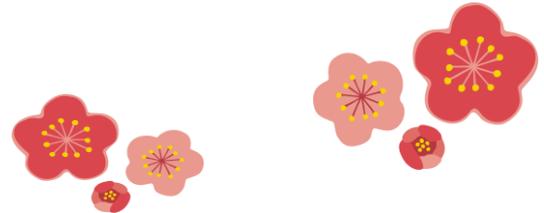
○時 間 午前10時～正午（計8時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・40人

○参加者 47人 参加延べ人数164人

○講師 国文学研究者 棚木 恵子

○事業内容



回	月 日	内 容
1	5月11日（土）	・和暦について ・「植物」や「花」の神格化
2	5月18日（土）	・梅花の歌宴が催された背景 ・大伴旅人
3	5月25日（土）	・神楽歌（里神楽・宮中御神楽）・日本の農耕行事
4	6月 1日（土）	・梅の「色」から「香」への文学史上の変遷

○ま と め

今年度の日本文学（前期）のテーマは新たな元号の出典となった巻五より梅花の歌宴を中心に開講した。宴の主催者は万葉集を編纂した大伴家持の父であり、大宰府帥（そち＝長官）であった大伴旅人である。

730年当時66歳を迎えた旅人は、新たな季節の到来を寿ぎ祝宴を開いた。梅の花は冬の寒さが残る頃、春の先駆けとして開花する。木々の枝から出現する花々は神の力の表れとされ、めでたきものとして重用された。

『梅花宴歌』の和歌は、神楽歌の形式である①採物（とりもの＝神を招く）、②前張（さいはり＝神と共に楽しむ）、③明星（あけほし＝神上がる）を背景に詠まれている。宴の始まりである815番歌で「梅を招きつつ」と詠み花に宿る神を招き、終宴には梅の花（＝神）に「共に風流を楽しめ」と語らせている（852番歌）。

神楽歌の形式（作法）は現代の文化行事にも根付いており、「五山の送り火」やお盆に焚く「庭燎（にわび）」に見ることができる。

日本人の文化観を通して語られる文学作品の尽きせぬ話題に受講者は聞き入っていた。後期テーマについても継続を希望する意見が多く見られた。

日本文学講座（後期）

〈大和田公民館〉

○開設の趣旨 万葉集の名歌を通して、先人の思想や自然観、歴史的背景などを学ぶ。

○期 間 令和元年10月5日～11月16日までの毎週土曜日（計5回）
※10月12日、11月9日を除く

○時 間 午前10時～正午（計10時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・40人

○参加者 47人 参加延べ人数184人

○講師 国文学研究者 棚木 恵子

○事業内容



回	月 日	内 容
1	10月 5日（土）	東歌にみる新嘗と来方神
2	10月19日（土）	大嘗祭と斎服・人事服 大嘗祭成立の時代背景
3	10月26日（土）	挽歌にみる御代変わり
4	11月 2日（土）	日本書紀からの考察
5	11月16日（土）	大嘗宮の設置と時代背景 陪膳の担い手・采女

○ま と め

台風19号の影響により10月12日に予定していた第2回目が中止となったため、11月16日まで繰り延べして開講した。

後期では、大嘗祭と講義日程が近かったこともあり、巻一を中心に2番歌・31番歌などの「国見歌」や令和の大嘗祭でも陪膳（ばいぜん）の担い手となった采女（うねめ）にちなんだ95番歌など数首を取り上げた。

また、儀式に添えられた「机代物」（つくえしろのもの＝地方の特産品）について38番歌で解説があった。儀式では食を通してその土地の靈魂（土地の神の恵み）を身に着ける意味付けがあるという。日本に造詣の深かったラフカディオ・ハーンは日本を「靈魂の国」と表したように、日本には古来より万物に魂が宿るとの考え方があつた。伝承されてきた儀式に託された背景を知り、和歌を解釈することでより鮮明に古代日本の風景が見えてくるようだった。

アンケートでは、当講座を継続する希望者が多く、文学作品の要望も多種多様だった。今後もこれらの要望を踏まえ充実した講座になるよう企画したい。

おもてなし英会話講座

〈大和田公民館〉

○開設の趣旨 2020年の東京オリンピックの開催に向けて、日本を訪れる外国人の方に対し簡単な道案内等ができるように必要な単語やフレーズを学ぶとともに、英会話を練習する。

○期 間 令和元年9月13日～27日までの毎週金曜日（計3回）

○時 間 午後6時30分～8時30分（計6時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・16人

○参加者 17人 参加延べ人数44人

○講師 英会話講師 イアン エリス

○事業内容



回	月 日	内 容
1	9月13日（金）	自己紹介をしてみよう 友達に週末にあったことを話してみよう
2	9月20日（金）	会話を続けてみよう（会話を続けるためのフレーズ） 趣味（好きなこと）は何ですか？ おすすめの場所はどこですか？
3	9月27日（金）	道案内をしてみよう 疑問になっている言い回しやふさわしい場面について

○ま と め

東京オリンピック・パラリンピックに向けて始まった当講座は今年で3年目を迎えた。訪日する外国人旅行者への簡単な道案内など身近な国際交流を目的とし、中学生レベルの英語を使ってより多くの方が参加できるよう企画している。アンケートでも要望の多かった平日夜間の開催とし社会人の方でも参加しやすい講座とした。

講義は毎回席を入れ替え、隣り合った人とペアを組んで自己紹介などの日常会話から旅行先での簡単な道案内までをテキストのフレーズを交えて練習し、文法やよりスマートな言い回しになるよう解説が加えられ、発表と講義を繰り返す形式で進められた。アメリカの流行など文化・生活に関する紹介もあり、2時間集中して英会話学習に取り組めた。公民館の英会話サークルへの加入者もあり、語学入門講座として今後も継続させたい。

そば打ち体験講座

<大和田公民館>

○開設の趣旨 日本古来の伝統食であるそばについて、栄養価や国産そば粉の現状を学ぶとともにそば打ちを実践する。

○期 間 令和元年12月11日(水)

○時 間 午前10時～午後2時(計4時間)

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人

○参加者 20人

○参加費 実習材料費700円

○事業内容



回	月 日	内 容	講 師
1	12月11日(水)	そばの栄養について そば打ち実習、試食 そばがき調理実演、試食	さいたま蕎麦打ち倶楽部 講師 野木 直衛 ほか

○ま と め

今年で12回目を迎えるそば打ち体験講座は当館の年末の風物詩となっており、分かりやすい解説と丁寧な指導で受付開始後まもなく定員となる人気講座のひとつである。

手打ちそばの歴史は古く、文献最古のものは長野県木曾郡の定勝寺で発見された「定勝寺文書」にも記されており、日本人には馴染みの一品である。講座の初めにそばの栄養価や産地の分布などを学習し、その後そば打ちの実習となった。講師は「さいたま蕎麦打ち倶楽部」の方8人で、受講生は4人1組となり5班に分かれて実践した。

講師が持参したそば打ち専用の道具を使って参加者全員がそば粉に水を入れてこねる「水回し」「捏ね(こね)」、延ばす「延し」、刻む「切り」の作業をすべて体験した。各工程で個人指導に近い形で指導を受け、班によって時間差ができないように進行状況を確認しながら完成させることができた。そばがきの調理実演もあり、参加者にふるまわれた。醤油とわさびでいただき、香り豊かな蕎麦食の魅力を堪能した。アンケートでは、きめ細やかな指導で分かりやすかった、蕎麦湯の栄養価を学習し、これからは蕎麦を活用しようと思ったなどの意見があった。

家庭で作れるパンとスイーツ講座

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 当館を利用しているサークルの方を講師として招き、日頃の活動を知ってもらおうと共に、手軽に作れるパン・スイーツを家庭で楽しんでもらう。
- 期 間 令和元年9月25日（水）、10月2日（水）（計2回）
- 時 間 午前10時～午後1時（計6時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人
- 参加者 19人 参加延べ人数32人
- 保育 5人 保育延べ人数10人
- 参加費 実習材料費1,200円（2回分）
- 講師 スイーツやよい 代表：福本 ミエ子
- 事業内容 家庭で作ることができるパンやスイーツの基本を学ぶ。



回	月 日	内容
1	9月25日（水）	ジャーマンロールとウィンナーの三つ編みパン
2	10月 2日（水）	中華まん（2種）

○ま と め

公民館活動を身近に感じてもらうため、公民館創立時から続く料理サークル「スイーツやよい」を講師に招き実施している。参加希望者も多く人気講座の1つとなった。各テーブルに講師が1人ずつ付いて調理のコツや成形の手本を示し、初心者でも安心して取り組める内容である。

メニューは子供から大人まで家庭で楽しめるよう味付けにも工夫を凝らした調理パン作りで、今回は朝食やランチにも活用でき、忙しいときにもすぐに食べられるよう冷凍保存ができるレシピを教わった。パンの中に入れる具材によっておかずパンにもおやつパンにもなり、買うものから作るものへのイメージがふくらんだようだった。

アンケートでは今後挑戦したいパンやスイーツの提案が多数寄せられた。サークル加入希望もいただき、仲間作りのきっかけになったようだった。

2種類の中中華まんを蒸かす様子



パソコン「エクセル入門」講座 ～エクセルで血圧管理！～

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 パソコン初心者対象の講座で、身近な健康に関する題材を用いて計算ソフト「エクセル」を学ぶ。
- 期 間 令和元年8月30日（金曜日）
- 時 間 ①午前10時～正午、②午後1時30分～午後3時30分（各2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・各回とも10人
- 参加者 18人（①9人、②9人）
- 参加費 ①・②とも 教材費100円
- 講師 黒江 直行
- 事業内容



回	入替制	内 容
1	午前の回	血圧管理表の作成
2	午後の回	緊急医療情報シートの作成

○ま と め

今年度は人気のエクセル講座をレベル別に開設し、どなたでも受講しやすい講義内容とした。

『血圧管理表』の回では関数やグラフ機能を使って血圧データの変動を可視化できる管理表を作成し、数値を入力すると連動してグラフが作成される様子に「毎日の計測が楽しみになりそう」などの声があがった。

『緊急医療情報シート』は、冷蔵庫など毎日家族が目にする場所にかかりつけ医や服用している薬などの医療情報を記載した書類を保険証のコピーとあわせて保管し、万一のときに必要な情報を家族などへ伝える手段の一つとなっている。入力の基礎となる書式設定や作表の体裁を整える方法などを学んだ。

受講者はいずれの表もエクセルの使用例として楽しんで学習していた。11月の初級編への関心も高く、館講座のPRをすることができた。

パソコン「エクセル初級」講座 ～医療費領収書を整理してみよう～

〈大和田公民館〉

○開設の趣旨 エクセル入門を8月に実施したが、そのステップアップを目標に開設した。より実践的な技術の習得のため、これからの申告の時期に備え医療費領収書の整理をテーマに学習する。

○期 間 令和元年11月19日（火曜日）・20日（水曜日）

○時 間 午前10時～正午（計4時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・10人

○参加者 10人 参加延べ人数20人

○参加費 教材費100円

○講師 黒江 直行

○事業内容



回	月 日	内 容
1	11月19日（火）	基本操作 表のレイアウト設定 データ入力
2	11月20日（水）	ピボットテーブルの活用 データの追加・修正

○ま と め

夏の入門講座からのステップアップ講座として、エクセル初級編を開講した。年末の時期に合わせ医療費の整理をテーマとし、より実践的にエクセルの便利な機能を学ぶ講座とした。

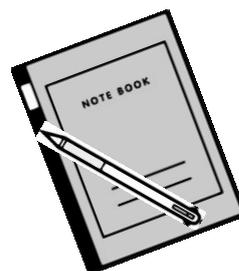
初日は作表のレイアウト設定などの基本を確認し、サンプルデータの入力をした。プルダウン機能やオートフィル機能を使用して効率的に入力する方法などの紹介があった。2日目はピボットテーブルを使用して作表し、ランダムに入力したデータの整理方法などを学習した。

教材のCD-ROMを持ち帰り予習・復習ができるため効率よく学習できたと好評で、アンケートではさらに便利な機能を知りたいなどの意見があった。

仕事に役立つパソコン「エクセル中級」講座

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 仕事でエクセルを使う機会がある方等を対象にして、基本操作から表の作成、関数等を使いこなす。
- 期 間 令和2年1月11日～2月15日までの毎週土曜日（計5回）
※2月8日を除く
- 時 間 午前10時～正午（計10時間）※初回は午後1時30分から3時30分
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・10人
- 参加者 10人 参加延べ人数46人
- 参加費 教材費100円
- 講師 黒江 直行
- 事業内容



回	月 日	内 容
1	1月11日（土）	基本操作・書式設定
2	1月18日（土）	関数の利用
3	1月25日（土）	便利な機能
4	2月 1日（土）	データベースの活用
5	2月15日（土）	ワークシートの活用・印刷設定

○ま と め

仕事などでエクセルを活用している方向けにエクセルの便利な機能を紹介する講座で、今年も定員を超える応募を多数いただいた。講師の厚意により開始時間の30分間を自習時間に当て、前回分の復習や使い方が分からないなどの質問を受ける枠を設けた。参加者のほぼ全員がこの時間を活用するため早めに出席していた。アンケートでは子育て世代の参加者から保育付きを要望する意見が寄せられた。より多くの年齢層の方に講座参加していただけるよう開講曜日や時間帯を含め検討していきたい。また、講座リピーターの方も複数おり、受付の条件を見直すなどの工夫も必要だと感じた。

ゆかた着付け講座

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 ゆかたの着付けを通して日本の伝統文化である「きもの」文化を学ぶ。
- 期 間 令和元年7月26日(金)・27日(土)(計2回)
- 時 間 午後1時30分～午後3時30分(計4時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の女性・10人
- 参加者 9人 参加延べ人数13人
- 講師 着物インストラクター 津田 晶子 外2人
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	7月26日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・きもの基本的な決まり事 ・肌着、ゆかた着付け、帯結びの段取り ・美しく着るためのコツ(タオルを使用した体形補正) ・文庫結び・きものたたみ方
2	7月27日(土)	<ul style="list-style-type: none"> ・1日目のおさらい ・半幅帯の変わり結び

○ま と め

夏の風物詩のひとつであるゆかたの着付けを2日間かけて丁寧に学ぶ講座で、今年8回目を数える。和装をより美しく見せる体型補正の仕方から着崩れしにくい着付けのポイントを教わり、帯結びでは基本の文庫からアレンジまでを学ぶ。

ゆかたは帯留めなどの小物や足袋と草履をコーディネートすることで、気軽な外出着として活用できる。初めて自分で着付けをする方でもひととおりマスターすることができた。外出時の補正の仕方や所作なども質問があり参考になったようだった。



ママのためのヒップホップダンス講座

<大和田公民館>

○開設の趣旨 子育て中の母親を対象に、子育てによるストレス解消と仲間作りの場とするためにヒップホップダンスを学ぶ。

○期 間 令和元年11月7日～12月5日までの毎週木曜日(計5回)

○時 間 午前10時～正午 (計10時間)

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人

○参加者 19人 参加延べ人数75人

○保育 9人 保育延べ人数13人

○講師 スタジオパラダイス講師 木野村 温子



○事業内容

回	月 日	内 容
1	11月 7日 (木)	柔軟体操・基礎ステップの練習・振り付け
2	11月14日 (木)	柔軟体操・基礎ステップの練習・振り付け
3	11月21日 (木)	柔軟体操・基礎ステップの練習・振り付け
4	11月28日 (木)	構成、フォーメーションごとの位置決め
5	12月 5日 (木)	通し稽古(クリスマス会参加者はリハーサル兼)

○ま と め

ヒップホップダンスの基本を学び12月の「大和田ハッピーXmas」での舞台発表を体験できる講座で人気講座の1つである。今年度は30代から60代まで幅広い層の方に参加いただいた。受講生は新しいステップを翌週までにはマスターしてくるなど、熱心に取り組んでいた。往年の名曲マライアキャリーの「恋人たちのクリスマス」に振り付けられたダンスにフォーメーションの変化をつけて集団で踊ることの楽しさを堪能したようだ。

保育付きの講座であるが、幼稚園や保育園を利用している方が多く、保育の受入数が例年より少なかったが保育利用者からは安心して受講できると好評だった。今年は県民の日に講座開設日が重なったため、この日だけ保育利用者が多かった。講座日程を考える上で今後の参考にしたい。

参加者の中から有志5名がクリスマス会へ参加し、観客から暖かい拍手をもらっていた。お揃いの衣装作成や舞台用のヘアメイクの準備など、本番までの期間が短く大変な面もあるが、練習の成果を遺憾なく発揮できたようだった。

癒しのフラダンス体験講座

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 フラダンスを通して体を動かすことの楽しさや、仲間と気持ちを合わせて表現することの楽しさを学ぶ。
- 期 間 令和元年5月15日～29日までの毎週水曜日（計3回）
- 時 間 午前10時～正午（計6時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人
- 参加者 16人 参加延べ人数35人
- 保育 1人 保育延べ人数 3人
- 講師 フラダンス講師 糸井 とみ子
- 事業内容 基本的なステップを取り入れて1曲の演目を踊れるようにする。
- ま と め



昨年に引き続き要望の多かったフラダンス体験講座を企画して参加者を募った。優雅な癒し系の音楽とゆったりとした動きを交えたダンスで年齢を問わず人気がある。今年度は子育て世代の方にも気兼ねなく参加できるように保育付きの講座としたが、3人中2人がキャンセルとなり、保育の有効活用ができる講座となるよう時間帯・曜日など検討が必要だと感じた。

講座は初心者が楽しめるよう基本のステップを準備体操に取り入れ、無理なくフラダンスになじめるよう工夫されていた。踊りではダイヤモンドヘッドを意味する『KA I M A N A H I L A』（カイマナヒラ）を使って復習を繰り返しながら一曲を仕上げた。

講義終了後、フラサークルへの関心がある方から問い合わせをいただいたが、構成要件の5人を満たすことができず保留となった。

アンケート結果ではサークル活動への関心は回答者全員が持っており、幅広い年齢層の方が生涯学習の場として公民館を活用するきっかけとなる講座を今後も企画していきたい。



かがやき塾

<大和田公民館>

○開設の趣旨 より充実した人生を過ごすために健康面、趣味などで生きがいを持つことについて学ぶとともに、仲間作りの場とする。

○期 間 令和元年10月3日・10日・24日・31日の木曜日4回、
10月15日の火曜日（計5回）

○時 間 午前10時～正午（15日は館外学習のため終日）、
（31日は午前10時30分～午後12時30分）（計16時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・40人（公開講座100人）

○参加者 123人 参加延べ人数215人（うち公開講座のみ81人）

○参加費 昼食代及び高速料金代2,300円

○事業内容

回	月 日	内 容	講 師
1	10月 3日（木）	健康体操で若々しく！	サークル講師 年増千春
2	10月10日（木）	楽しく歌おう！	サークル講師 大嶋豊子・高岡秀子
3	10月15日（火）	館外学習 味の素川崎工場見学	訪問先：神奈川県川崎市
4	10月24日（木）	私はだまされない！ 振り込め詐欺防止講座	新座市役所経済振興課職員及び新座市消費生活センター 相談員 近藤則子
5	10月31日（木）	【公開講座】 笑って元気に大和田寄席 とマジックショー	落語家 立川らくぼ マジシャン 辻本直治

○ま と め

充実したセカンドライフを過ごすためのヒントを提供する目的で毎年開催している講座で、人気講座の一つとなっている。

今年度も健康体操や脳トレなどの体を使う講座と老後の資産を守るための特殊詐欺防止講座を組み合わせ実施した。体操の回では、椅子を使ったストレッチなどを学び、自宅でも簡単に取り組める内容とした。館外学習では味の素川崎工場を見学し、「食」をテーマに和食に欠かせない「出汁」について学んだ。また、最終回ではかがやき塾の入門編として公開講座と併用して、どなたでも気軽に講座に参加できるようにした。

アンケートでも継続希望を多数いただいているが、ひと月にわたる連続講座なので、参加者の興味関心があるテーマを常に検討する必要があると感じた。

歴史講座（公開講座） ～信綱と一茶・新座の江戸時代～

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 郷土の文化や歴史に焦点を当て、先人の足跡を辿る。
- 期 間 令和元年9月28日（土）
- 時 間 午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・100人
- 参加者 70人
- 講師 大東文化大学教授 宮瀧 交二
- 事業内容 野火止用水の開削を進め新座の礎を築いた松平信綱と整備後の川越街道を往来した俳諧・小林一茶に焦点を当て当時の郷土の姿を知る。
併せて武蔵野の原風景に美を見出した国木田独歩の文学作品を学ぶ。



○ま と め

今年度は郷土の歴史に焦点を当て、新座市に縁（ゆかり）のある歴史上の偉人について開講した。

新座の地名は奈良時代に遡り、当時は「にいくら」と呼ばれていた。水に恵まれず、農業に不向きな土地であったという。一面の萱原であった様子は「武蔵野柄」と呼ばれ着物や美術品のモチーフにもなっている。

正保期2村1宿であったこの一帯が発展を遂げたのは明暦元年（1655年）の野火止用水の完成に起因する。元禄年間（1688～1704年）には10村2宿に分村するまでになった。この治水事業を主導した松平信綱は「知恵伊豆」の逸話で名高く、現存する資料が多く残っており、信憑性が高いとされる。

一方、江戸と信州を結ぶ川越街道を往来していた俳諧・小林一茶は文化5年（1763年）『草津道の記』で新座を訪れた際、武蔵野の原風景を詠んだ句を残している。

一面の萱原から野火止用水が整備され、川越街道沿いの宿となったこの地域に立ち寄った俳諧の足跡を当時の文献や古地図などを交えた講話により身近に感じることができた。

講義後の質疑では郷土史への関心の高さが伺われ、アンケートでも「手持ちの（着物の）武蔵野柄をよく見てみようと思った」「信綱の功績をもっと知りたい」などの意見があった。今年度は公開講座とし、高校生から年輩の方まで参加をいただいた。周知方法等を検討しさらに参加しやすい講座を目指したい。

ふれあいタイム企画準備会

<大和田公民館>

- 開設の趣旨 令和2年度に開催するふれあいタイムの企画、打合せを行う。
- 期 間 令和元年9月18日(水)
- 時 間 午後1時30分～午後2時30分(計1時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方5人
- 参加者 4人
- 事業内容 今年度の反省と来年度の講座の日程調整・内容の検討を行う。
- ま と め

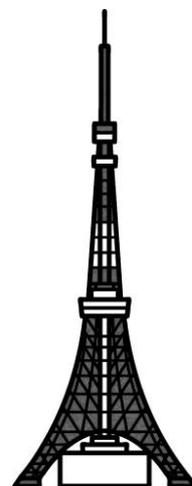
障がい者地域活動センター「ふらっと」や「くるみの木」が当館の近くにあり、障がいのある方もない方も共に交流を深めることを目的に「ふれあいタイム」講座を毎年開講しており、地域の方をはじめ多くの方に参加していただいている。

町内会を筆頭にボランティアの力添えが欠かせない講座であるため、準備会では行事予定との日程調整やバスハイクの行き先としてバリアフリー機能やサービスが充実している施設選定が議題となった。

また、例年どおり周知用のチラシは障がい者地域活動センター「ふらっと」が担当し、バスハイクのしおりや移動中のレク等は大和田公民館が担当することを確認した。

今年度のアンケート結果や反省点を取り入れ、来年度も大和田1・2丁目町会の協力を得て「うどん作り」事業の継続と埼玉県のリフト付き大型バス「おおぞら号」を利用してバスハイクをすることを決定した。視察先は「ふらっと」の方がアンケートを取ってきてくれたので要望の多かった所を見学先として決定した。

- ・令和2年4月18日(土) うどん作り
- ・令和2年5月13日(水) バスハイク(東京タワー見学)



ふれあいタイム

<大和田公民館>

○開設の趣旨 障がいのある方もない方も、ひとりで外出が不安な方も同じ地域住民が交流することで相互理解を深める機会を創る。

○期 間 平成31年4月6日(土)、26日(金)(計2回)

○時 間 4月6日午前10時～午後1時、
4月26日午前8時30分～午後4時(計10.5時間)

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・40人(バスハイクは10人)

○参加者 49人 参加延べ人数 62人

○参加費 調理材料費200円、昼食代・高速料金代400円

○事業内容

回	月 日	内 容	講 師
1	4月6日(土)	うどん作り	大和田一・二丁目町内会
2	4月26日(金)	東京都庁舎見学	—

○ま と め

1回目のうどん作りには地域の方も多数参加していただき、盛況であった。講師としては大和田一・二丁目町会の方や北部第二地区地域福祉推進協議会の方にお手伝いいただき、参加者全員でうどん生地をこねたり、野菜切りに挑戦した。試食時には各テーブルで談笑する様子も見られ、和やかな雰囲気でお食事を楽しんだ。

バスハイクでは、前年に引き続き埼玉県のリフト付き大型バス「おおぞら号」をお借りして都庁を見学した。広いエントランスをはじめバリアフリーの設備が充実しており、数段の段差にも小型のエレベーターで対応してもらえた。雨の中の都庁舎見学であったが、見学中の移動はスムーズで参加者からも好評であった。議場見学のほか、地上202mを眺望できる展望室見学を楽しんだ。

帰りのバスでは来年度の企画が話題となり、いろいろな意見が出た。来年度の企画準備会に向けて資料作りの参考としたい。



左：うどん作り

右：都庁議場見学

人権研修

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 公民館利用者団体の代表者を対象に人権研修を行う。
一人ひとりが社会を担う一員であることを自覚し、互いに助け合い、支え合いについて考える。
- 期 間 令和元年6月8日(土)
- 時 間 午前11時～正午(計1時間)
- 対象・定員 公民館利用者団体の代表者の方・70人
- 参加者 41人
- 事業内容 人権学習DVD「わっかカフェへようこそ」を視聴し、身近な人権について考える。

○ま と め

人権研修として毎年多くのサークルの方が集まる公民館利用者懇談会後に人権啓発教材のDVDを視聴している。

「わっかカフェへようこそ」は「ココロまじわるヨリドコロ」という副題が付いているとおり、地域の憩いとなり集まる人々の悩みやすれ違いを口に出せる場となっている。

インターネットによる人権被害、高齢者とその子供、外国人である子供が抱える異文化圏での慣れない生活など3つの身近な挿話を通して、誰もが気兼ねなく利用できる仲間作りの場であったり、コミュニケーションをとれる場の大切さを描いている。

来訪者を広く受け入れる公共施設として共通項も多く、考えさせられた。今後とも地域に愛され、大切な場所となるように公民館の運営に努めたい。



わくわくキッズファミリー講座

<大和田公民館>

○開設の趣旨 趣味や子育てについての学習を通して、親同士で悩みごとを話し合い、親睦を深める。

○期間 令和元年6月11日～6月25日までの毎週火曜日（計4回）

○時間 午前10時～正午（18日のみ午後1時まで、計7時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤の方の2歳から就学前までの親子・20組

○参加者 18人（9組） 参加延べ人数34人

○保育 9人 保育延べ人数17人

○材料費 実習材料費（調理）600円

○事業内容

回	月日	内容	講師
1	6月11日（火）	骨盤体操	新座市体育協会登録インストラクター
2	6月18日（火）	もちもち！ベーグル作り	大和田1・2丁目町会役員 大瀧 比呂美
3	6月25日（火）	子育て相談 子どもの健やかな成長をみつめて	越迫 敏枝

○まとめ

子供を持つ親が気軽に参加でき、同年代の方との交流の場を設けることを目的とし今年度も実施しているが、近年の傾向として子供を保育園・幼稚園の「プレ保育」に通わせていたり、産後すぐに就労復帰する方が多いため参加者の獲得が年々厳しくなっている。今後、実施曜日や実施時間の検討が必要であると感じている。

産後の女性に人気のある骨盤体操と調理実習を通して参加者の親睦を図り、最終日の子育て相談では意見交換がしやすい環境になるようメニューを考えた。各講座とも講師が趣向を凝らし、参加者が楽しめ、かつ参考になる講義となった。



大和田ハッピーXmas

<大和田公民館>

○開設の趣旨 お楽しみ会を通じて、地域交流の場を設ける。

○期 間 令和元年12月7日(土)

○時 間 午後1時30分～2時40分(計1時間10分)

○対象・定員 幼児及び小学生と保護者など・120人

○参加者 174人

○事業内容

演目	出演者
クリスマスミニコンサート	フルート奏者 小松 由歩
ヒップホップダンス	HIPHOPパラダイス ママのためのヒップホップダンス受講生(有志)
マジックショー	マジシャン 辻本 直治

○ま と め

今年で12回目を数える地域住民の方と館との親睦を図ることを目的としたイベントで、当館の年末行事の一つとなっている。今年度も子供からお年寄りまで幅広い年齢層の方に足を運んでいただき盛況であった。

公民館まつりで毎年好評であるフルート奏者によるクリスマスソングの演奏や館講座の講師と受講生などによる多彩なヒップホップダンスのミニコンサート形式で、利用者が参加し共に楽しめる内容となっている。

未就学児も多く訪れるため、福祉施設等を中心に活動しているマジシャンによるマジックショーを加えた。間近で見る手品に歓声が上がっていた。会場は終始和やかな雰囲気、年末のよい楽しい締めくくりができた。



フルートミニコンサート



ヒップホップダンス



マジックショー